

わかやま 市議会 だより

No.117 令和7年(2025年)5月1日発行

- ・特集 移住支援でにぎわい創出 P2
- ・2月定例会の概要 P4
- ・令和7年度当初予算 P5
- ・代表質問 P6
- ・一般質問 P8
- ・委員会審査の概要 P12
- ・採決状況 P14
- ・市議会からのお知らせ P16

ふるさとの魅力!!

伝えたい!



特集vol.29

移住支援でにぎわい創出



フリーマーケット



あせ寿司作り体験



DIYワークショップ



たこ作り

食や自然といった多くの魅力がある和歌山市ですが、近年は人口減少や、若者の流出が課題となっています。そのような中、移住支援活動や地域のにぎわい創出に取り組んでいるNPO法人「さいかさきポッセ」の皆さんを取材しました。



**子供・孫が
住み続けられる
集落づくり**

NPO法人「さいかさきポッセ」は、代表理事の清水さんを中心に、令和5年に設立されました。

「子供・孫の世代が将来にわたって住み続けられる集落づくり」を目標に、雑賀崎地区の移住支援や空き家活用、地域振興などの活動をされています。

雑賀崎は、イタリアのアマルフィ海岸のようだと言目を集めた、独特の美しい景観が話題の港町。地元住人のきずなの深さも魅力です。

しかし、清水さんたちは、空き家の増加や人口減少という課題を感じていました。

そのような時に、地域課題の共有を目的とした、市主催のワークショップが開催されると知り、「地元の若者が話を聞かないといけない」「地域課題をなんとかしたい」と、清水さんの幼なじみである池田さんや西出さんたちと一緒に参加することに。

最初は、移住や空き家につ



いての知識がなく不安もありましたが、何度も参加するうちに「自分の子供が成長したときに、住みたいと思えるまちにしたい」との思いが強くなってきたそうです。

移住者と地域を結ぶ活動

さいかざきポッセでは、現在11名のメンバーで移住支援活動に取り組んでいます。

例えば、空き家マップを作成し、移住希望者と所有者のマッチングを支援。また「自分たちが、楽しく雑賀崎ライフを送っているリアルを伝えたい」と、DIYワークショップや、地域の名産・あせ寿司作りの体験会、盆踊りなど地元の伝統を盛り上げるイベントを開催しています。

さらに、現在お試しし居

設「リラ・ジャンテ」の本格稼働に向け準備中です。移住希望者に雑賀崎の良さや空気を感してもらったり、旅行者に雑賀崎に興味を持ってもらうきっかけになってほしいと、今後の夢を語ってくれました。

これらの活動が続けられるのも、自治会などで長年地元貢献してきた尊敬すべき先輩方がいたからこそ。「いつも頑張っているね」と地元の高齢者から声を掛けてもらえることも励みになっています。

移住者が地域に溶け込みやすいよう、移住者向けのパンフレットを作るといった工夫なども実を結び、地域の方々に応援される団体となっているのだと感じました。

地元へ恩返しを

メンバーはそれぞれ、地域のために恩返しを、高齢者支援にも取り組んでいます。他地域でパン屋を営む福井さんは、週一回地元の雑賀

崎でパンの移動販売をしています。足が痛く買いに来られない方などから希望があれば、一軒一軒歩いてお届けもしているそうです。「安否確認をしたり、人との会話のきっかけを作ることで、この



地で育ててもらった感謝を少しでもお返しできれば」
池田さんは、経営する食堂で、定期的に地元の高齢者を招き食事を開催しています。「一人暮らしの方の孤食を防ぎたい。集まることで、おしゃべりをするきっかけになることがうれしい」と笑顔で話してくれました。

地域の魅力を伝える皆さんの挑戦は、和歌山市の未来を切り開く大きな原動力となります。市議会としても、市民の皆様の声に耳を傾け、地域課題の解決に努めるとともに、本市の様々な魅力を発信し、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでいきます。

編集後記



雑賀崎を訪れ、移住支援に取り組んでいる若い世代の皆さんを取材しました。このままでは母校の小学校がなくなってしまうと危機感を持って立ち上がった皆さんのお話からは、様々な工夫や努力、そして地元のにぎわいを創出したいという熱い思いが伝わり、明るい未来を感じました。和歌山市のより良いまちづくりへの取組を、私たち議員も全力で応援していきます。

特集担当：坂口 多美子、堀 登美子



Saikazaki Posse members



代表理事 清水 綾子さん 理事 池田 佳祐さん(左) 理事 西出 祐也さん 理事 福井 健介さん
メンバー 池田 美紀さん

2月定例会の概要

開会

2月19日

- ・会期の決定(2月19日～3月17日)
- ・議案説明(報告関係3件、承認関係1件、議案30件(補正予算案20件、条例案1件、繰越明許費に関する補正予算案4件、その他5件))
- ・議案の委員会付託

2月20日～21日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について、審査、討論及び採決

2月26日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(森下議員)、採決
- ・議案説明(議案38件(当初予算案17件、条例案20件、その他1件))

代表質問

2月28日

各会派の代表者による代表質問

- ・中村元彦議員、藪 浩昭議員、川端康史議員、赤松良寛議員、森下佐知子議員、山野麻衣子議員(P6～P7に概要掲載)

一般質問等

3月3日

- ・堀 登美子議員、志賀弘明議員、坂口多美子議員

3月4日

- ・永野裕久議員、山路恭世議員、南畑幸代議員

3月5日

- ・浜田真輔議員、松本哲郎議員(P8～P11に概要掲載)
- ・議案に対する質疑(森下議員)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

3月6日～11日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

3月12日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P12～P13に概要掲載)

特別委員会

3月13日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

3月17日

- ・各常任委員会の委員長報告、組替え動議
- ・反対討論(坂口議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・議員発議(条例の一部改正1件)、採決

令和6年度予算(2月補正後)

一般会計	1,700億6,482万1千円 (補正額135億5,681万8千円)
特別会計及び公営企業会計	1,391億8,854万7千円 (補正額14億6,723万9千円)
合計	3,092億5,336万8千円

補正予算の概要

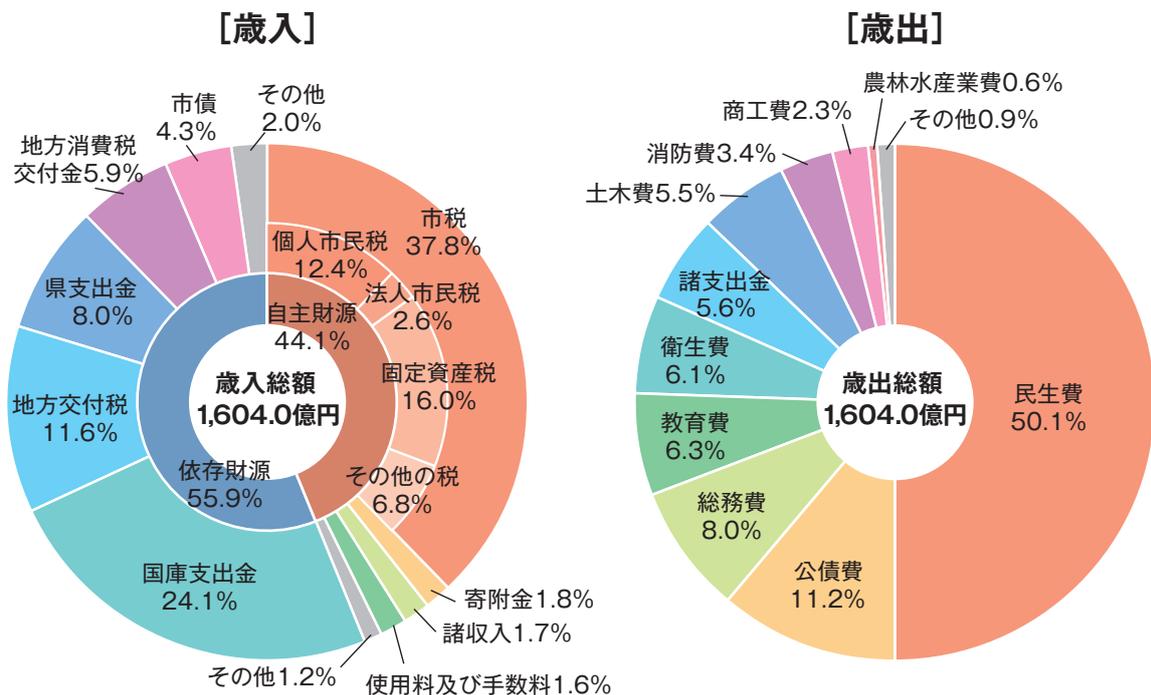
一般会計では、国補正を活用した低所得者支援給付金事業、小・中学校改築事業、中学校給食センター整備事業に要する経費、各事業における事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。

特別会計(公営企業会計を含む)では、各会計で事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

令和7年度当初予算

一般会計



特別会計

965.9億円

公営企業会計

422.4億円

予算合計

2,992.3億円

成長と福祉の好循環を形成する予算



1 ふるさとで学び働けるまち

- ▶ 産業を支える人材の育成
 - ▶ 市内産業の育成・支援
 - ▶ “稼げる観光”の推進
 - ▶ 光の彩りを軸とした夜間観光の推進
 - ▶ 「絶景の宝庫 和歌の浦」の新価値創出
 - ▶ 観光プロモーションの強化
- など



2 県都として活力にあふれたまち

- ▶ JR和歌山駅周辺グランドデザイン
 - ▶ 南海和歌山市駅周辺グランドデザイン
 - ▶ 徳川御三家の居城 和歌山城の更なる魅力向上
 - ▶ 地域の個性を生かした拠点づくり
 - ▶ 文化芸術の振興・文化財の保護活用
 - ▶ スポーツへの参加促進・環境の充実
- など



3 子供たちがいきいきと育つまち

- ▶ 切れ目のない支援網の充実
 - ▶ 若い世代のライフデザインを支援
 - ▶ 多様なライフスタイルに合わせた支援の強化
 - ▶ 誰一人取り残すことのない学びの場の提供
 - ▶ 健やかな体を育む学校給食・食育の充実
 - ▶ 安全・安心な教育環境の充実
- など



4 誰もが安心して暮らせる優しいまち

- ▶ 物価高騰に対する支援
 - ▶ 住宅の耐震化の促進
 - ▶ 浸水害に対する備え
 - ▶ 災害対応力の強化
 - ▶ 安心して安全な水道水の安定供給
 - ▶ スマートシティの推進
- など



代表質問

各会派の代表者による質問内容の一部を抜粋して掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



なかむら もとひこ
中村 元彦

下水道行政

問 下水道管の継続的な点検とメンテナンスに取り組むとともに、最新技術を活用した点検方法を取り入れてはどうか。

答 また、ポンプ場や処理場でも、最新最良技術を導入し環境への影響を最小限に抑え、かつ既存設備の劣化や破損を防ぐ対策を遅れないよう講じてはどうか。

答 下水道管渠は、日常点検や速やかな修繕を行って

いる。今後は、道路空洞化調査等の導入を検討するなどしていく。

ポンプ場や処理場については、環境に配慮した建設に努めている。今後も点検の徹底や、計画的かつ効率的な改築更新に努める。

加太地区の観光振興

問 観光客に最も人気の高い友ヶ島へ冬場も行けるようにすれば、閑散期の加太のにぎわいを取り戻せるのではないか。



友ヶ島にある砲台跡

答 冬場の平日にも渡航していただけるよう、関係者との協議を進めていく。

動物愛護

問 公益財団法人動物環境・福祉協会Evaの啓発チラシ

代表質問

をコミュニティセンターや各学校に配布掲示し、動物愛護を通じて命の大切さを周知してはどうか。



答 動物愛護の推進に有用であると考えており、教育委員会と協議し、配布・掲示を進めていく。

今後予定される「コミュニティセンター」

問 今後、第6ブロックコミュニティセンターの設置が予定されている宮・宮北・宮前の3地区のエリアは、市街地で人口が密集し、加えて南北に広い。

答 1か所の拠点では住民交流は難しく、防災拠点としても機能を果たせるか疑問である。住民の声に耳を傾け、届いた声を集約した地

域に必要な拠点づくりについて、市長の考えはどうか。

答 基本計画作成を、連合自治会などの意見を伺い進めている。今後も住民主体のまちづくりを進めていく。

子供たちの居場所づくり

問 昨年の代表質問で、県立高等学校でのいじめ重大事態について言及した。その生徒は卒業間近だが、いまだに学校に居場所もなく、母親だけが心の支えである。このようないじめ重大事態が本市で発生した場合に、被害生徒と家族に寄り添うことを第一に考え、速やかに対応し、居場所の確保に努めることが重要だと考えるがどうか。

答 多様な学び場の確保など、学びの継続に向けた支援に取り組んでいる。居場所としてふれあい教室を周知しているが、より身近な居場所として校内教育支援センターを開設した。

今後も、児童生徒の視点に立った環境整備に努め、児童生徒が安全安心に過ごせるよう取り組んでいく。

公明党議員団



やぶ ひろあき
藪 浩昭

南海トラフ地震への備え

問 昨年8月、気象庁が初めて巨大地震注意を発表した。いつ地震が起きてもおかしくない状況で、災害への備えは待ったなしである。仕事始めの市長訓示で

「災害への備えを加速化させ」「防災機能を二層充実させる」と明言されたが、具体的にどうしていくのか。

南海トラフ地震防災対策推進地域

(緑色に塗られた領域、赤線で囲まれた領域は南海トラフ巨大地震の想定震源域、内閣府資料に一部加筆)



引用：気象庁ホームページ

答 国土強靱化地域計画を策定し、ソフト・ハード対策を進めてきた。孤立集落が

発生した場合を想定し、緊急物資輸送計画の策定に取り組みなど、一人の命も取り残さないよう、備えをより一層充実させていく。

問 能登半島地震では、石川県内の死者数のうち、災害関連死が直接死を上回っていた。避難所の環境整備や高齢者等の多様なニーズに応じた支援の充実が必要であると考えるがどうか。

答 避難所の環境整備を進めるとともに、高齢者等における支援について福祉局との連携を強化し、被災者支援の充実を図っていく。

問 災害時にも大きな効果があるマイナ保険証の推進に取り組みべきではないか。

市営住宅鳴神団地

問 鳴神団地は空き家が多く建物は老朽化し危険な状態にあり、早期に解体、集約、建て替えの必要がある。

同団地は3地域に離れているため、地域別に集約化を図り、建て替え計画を進めながら余剰地を活用する

方法もあると考えるが、建て替えにどう取り組むのか。

民主クラブ



かわばた やすふみ
川端 康史

通学路の安全対策

問 山東小学校は和田川堤防沿いの道路を通学路としているが、県が管理する「河川管理用通路」扱いとなっており、地元の転落防止柵の設置要望が長年実現せず、昨年も児童の和田川への転落事故が発生した。

安原小学校では、通学路の県道秋月海南線の狭あい道路問題について、所管である県と地域が協議しているが、地元交渉が難航している。代わりに田んぼの農免道路を通学路としている。横の用水路との境に転落防止柵がなく、揚水時期

等に児童の転落事故が発生している。通学路安全対策についてどう考えているか。

答 山東小学校については、安全対策の必要性を認識し、転落防止柵等の設置に向け県と交渉を続けているが、車両防護柵設置基準を満たしていない状況である。今後も関係機関に協力を求め、市が実施できる安全対策を進めていく。

安原小学校については、歩道設置の要望を受け、昨年12月に関係機関と合同点検を行った。調整が難航しているが、県に要望しながら粘り強く取り組んでいく。

和歌山興志クラブ



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

自治会の現状

問 地域コミュニティの根幹であり、災害時の自助、互助、公助の共助を代表する自治会の加入世帯が減少しており、最も低い地区で

40%である。

防犯灯が、一部の補助の下、自治会費を使い設置し、電気代も自治会費から支払われていることを知らない市民も多く、自治会員と非自治会員との間の不公平感があるという話も聞く。

安心・安全な市民生活に欠かせない自治会の加入率低下が止まらない現状や、今後の対策をどう考えるか。

答 危惧すべき問題だと認識している。今後は、防犯灯の整備などが自治会活動に支えられていることをより広く知っていただくため、自治会加入促進チラシをリニューアルし、未加入世帯への案内に活用いただくなど、加入率の向上につなげていく。

日本共産党議員団



もりした さちこ
森下 佐知子

命と暮らしを守る施策

問 能登半島地震の教訓をどう考え、本市に生かそう

と考えるか。

答 家屋等の倒壊による直接死、避難所生活での疲労による災害関連死を教訓に、住宅の耐震化を促進し生存空間を確保する取組を進める。屋内テントや段ボールベッド、温かい食事の提供等スファイア基準に沿った避難所の環境整備を推進する。

問 国民健康保険料の負担の重さをどう考えるか。

答 負担をかけていることは認識しており、国に財政支援拡充を要望している。

日本維新の会



やまの まいこ
山野 麻衣子

2025大阪・関西万博

問 万博への参加は、次代を担う子供たちにとって素晴らしい刺激になり、探求学習に最適だと考えるが、現在の市立小・中学校の申込み状況はどうなっているか。

答 全ての市立小・中学校が参加申込みを行っている。

ピックアップ

PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



しが ひろあき
志賀 弘明

インバウンド観光

問 海外からの観光客数が大幅に増加し、1月には過去最高を記録したと報道があった。これは、インバウンド需要の回復と拡大の大きなチャンスであり、本市としてもこの流れを生かし、更なる観光誘致を進める必

要があると考ええる。

4月から開催の大阪・関西万博の会場は、本市からだと乗換えが多く、不便さを感じる。交通アクセスが悪いと来場者に本市まで来てもらえず、開催期間中の37万人の誘客予測にも影響するのではと心配である。

本市は和歌山城や加太の美しい景観など観光資源が豊富にあるが、海外観光客への情報発信や受入れ態勢の強化は不十分である。多言語対応の充実、キャッシュレス決済の促進など、より効果的な施策が求められるが、市としてインバウンド観光の更なる拡大に向け、具体的にどのような施策を実施すべきと考えるか。



大阪・関西万博公式キャラクター「ミヤクミヤク」と和歌山城

答 大阪・関西万博は、国

内外からの誘客につなげることが出来る絶好の機会と捉えており、本市だけが持つ魅力を核とした持続可能なツーリズム形成につなげていくほか、和歌山城でのキャッシュレス決済の導入などに加え、関西国際空港、高野山や熊野古道との位置関係などゲートウェイ都市として高いポテンシャルを持つことのPRも強化したいと考える。

さらには、SNS広告配信を強化するなど、海外に向けてしっかりと情報発信していくことで、外国人観光客に選んでもらえる観光都市を目指していく。

eスポーツの活用

問 デジタル分野への注力は、若者の創造性を刺激し、新たな産業創出の可能性を秘めており、地域経済の活性化を図ることができる。

大阪府は万博を契機にeスポーツを推進し、国内外からの集客を図っているが、本市がeスポーツを政策に取り入れるには大阪との差別化が重要となる。

観光面では和歌山城や温

泉地とeスポーツイベントを組み合わせ観光客の滞在時間を延ばす、経済面ではeスポーツ関連の企業誘致や地元産業との連携を進める、教育政策では地元高校などと連携しデジタル人材を育成するなど、独自の道を模索することを期待する。

現在のeスポーツの状況をどう認識し、今後市としてどう活用する考えか。また、教育的意義や教育行政の役割と課題について、今後の方向性をどう考えるか。



昨年開催されたeスポーツ大会

答 産業としてだけでなく、文化や健康など幅広い領域に浸透するユニバーサルスポーツと認識している。人の交流を生み出し、地域の活性化、シニア世代の健康維持増進等にも寄与すると

考え、大会などの誘致を検討する。また、コミュニケーション能力や思考力も養えるなど教育的観点からも有用と言われているが、情報モラル教育が重要であり、教育への活用は慎重な対応が必要であると考えている。



はまだ しんすけ
浜田 真輔

中央卸売市場

問 新青果棟の移転に伴い、仲買業者が13社から9社になると聞いているが、設計当初からその廃業を見込んでいたか。空きスペースが出た場合どう対処するか。

また、水産棟でも廃業する業者が出たと聞いているが、どう対応したのか。

答 設計当初から、6社の廃業を見込み設計を行った。空きスペースが出た場合は、公募を前提としている。

新水産棟では、2社が廃業したが、公募を行い現在は空きスペースはない。

問 青果棟の移転を間近に控えても、まだ使用料が正

式に決まっていなくて聞いて
いるが、現状はどうなっ
ているか。



答 施設使用料に関しては、
令和4年度から青果卸、仲
卸業者と4回協議を行った。
施設使用料算出単価は、
旧単価の1.56倍で同意を
得ているが、現在は賦課面
積の協議を行っている。

問 他府県市での卸売市場
移転の場合、費用の助成や
補助、貸付けなど資金援助
を行っている事例がいくつか
見られる。本市で、移転済
みの水産及び関連事業、こ
れからの青果に助成など行
わなかつたのはなぜか。

答 他都市において補助金を
交付しているところがあるこ
とは承知している。本市の
特別会計においては、財源

の問題もあり、自己負担で
移転していただくようお願い
している。

選択的夫婦別姓

問 選択的夫婦別姓につい
て、議論が成熟していない
中、急ぎ法制化しようとし
る流れに違和感を覚える。
国民の中で、夫婦別姓に
ついて深く広く議論がなさ
れたとは到底思えず、慎重
な議論が必要である。

また、選択的という言葉は
は一見どちらの価値観にも
寄り添ったように思えるが、
同一姓又は別姓を選択する
ことで、違和感が助長され、
新たな問題の火種になる可
能性は否定できない。

同一姓により、手続や書
類などに便宜上の不具合は
確かに存在するが、不具合
の改善だけを目的として別
姓導入を強調してはいけな
いのではないか。夫婦別姓
問題について、この時代を
生きる人たちが、将来を慎
重に見据え、後世につなぐ
責任の重さを感じながら真
剣に議論すべきと考える。

現在、本市職員で、婚姻
などを機会に同一姓に変え

る職員、従来の姓を引き続
き使用する職員はどの程度
いるのか把握しているか。
また、姓のことで不便など
を感じていると言っている
職員はいるか。さらに、現
在まで姓の選択について相
談等はあったか。



答 本市では、総務省からの
通知や他都市の状況を鑑み、
平成30年4月から、職員の
旧姓使用が可能となるよう
要綱を制定し、現在、正規
職員、会計年度任用職員を
合わせて39名の職員が旧姓
を使用している。

また、旧姓制度の導入前
は、前の姓を使用したいと
いう相談はあったが、制度
導入後は姓のことについての
相談はない状況である。

公明党議員団



ほり ともこ
堀 登美子

防災対策

問 南海トラフ巨大地震が
30年以内に発生する確率が
80%程度に引き上げられた。
巨大地震が発生した場合、
本市では強い揺れや津波に
より甚大な被害が予想され
る。市は、市有建築物耐震
化促進計画に基づき、耐震
診断、耐震改修を進めてい
るが、28施設が未耐震であ
り、現在も耐震が不十分で
危険な建物の中で、業務を
行っている職員がいる。ま
た市民が集まる場所もあり、
災害時には、命に関わる重
大なリスクを抱えている。

特に、教育文化センター
では、今にも外壁コンクリー
トが頭上に落ちれば死に至
る危険性がある状況で、周
りには常に人の出入りがあ
り、災害時には大きな被害
が発生する危険性がある。
教育文化センターの耐震

診断結果や現状をどのよう
に認識しているか。また、
耐震化や改修が進んでいな
い理由は何か。さらに、今
後の具体的な耐震計画や建
て替え計画、対策はどう考
えるか。



市教育文化センター

答 耐震診断では、改修が
必要と判断され、市未耐震
公共施設対策に関する専門
部会等で、市有施設の転用
等による機能移転を優先的
に検討してきた。早期に機
能移転できるよう努める。

問 市営今福西団地は老朽
化が進み、ロープが張られ
人影を見ることはない。前
の道路は、通学路や避難通
路でもあり、災害時に市民
が被害に遭うリスクが高く、
緊急対策が求められる。
今後どのように計画を進

めるのか。また、児童、市民の安全を守る対策はどう考えるのか。

答 利活用や売却を含めた検討を進めている。引き続き地域貢献の観点を踏まえ検討を進める。現地において危険箇所の把握を行い、適切な管理に取り組み、歩行者の安全確保に努める。



まつもと てつろう
松本 哲郎

孤独死の対策

問 コロナ禍で深刻化した孤独や孤立の問題に対して、その予防と当事者や家族への支援を推進するため、「孤独・孤立対策推進法」が昨年4月1日から施行された。

答 同法の基本施策に相談支援の推進とあるが、若い当事者も相談しやすい、敷居をできるだけ低くした体制が必要だと思っております。

問 支援の必要な方の状況に応じた包括的支援の強化に努めており、既存のあらゆる施策に孤立・孤独対策の視点を組み入れ、重層的支援体制を整備事業を活用するなど体制整備に努める。

学校施設の整備

問 学校体育館の空調設置について、中学校は令和7年度中に整備完了、小学校は令和7年度から5か年で全てに設置する方針が示され、大いに期待している。

答 空調設備と合わせて、バックアップ電源の整備が必要と考えるが、避難所となる学校体育館の防災機能強化の整備状況はどうか。



楠見中学校に整備した空調設備

問 空調を整備した体育館には自家発電設備を備えており、今後整備の際にもその方式をとる。また、外壁改修や非構造部材の落下防止対策等、施設の長寿命化改修を進めており、引き続き

き積極的に取り組んでいく。

高齢者支援

問 一人暮らしの高齢者が増え、死後の手続や葬儀を行う近親者がいないという深刻な社会問題が発生している。横須賀市では、生前契約し死後に葬儀や納骨を行う事業や終活情報登録伝達の事業を始めたが、本人の尊厳を守る終活支援に対する本市の考えはどうか。

答 現在、国の「地域共生社会の在り方検討会議」で、終活支援についても話し合われており、重要な意見として注視していきたい。

民主クラブ



やまじ やすよ
山路 恭世

屋内遊び場施設の設置

問 雨の日などに子供を遊ばせる屋内施設が少ない。

答 夏の猛暑日は毎日のように熱中症警戒アラートが発令され、気温33.9度、湿

度56%の天候の時は滑り台の温度が約70度など高温となっている。地域の遊び場としての屋内施設の重要性、観光にぎわいの創出という観点から整備を進めることが重要だと考えるがどうか。

答 市有施設及び民間施設の状況把握に努め、子供が安心して遊ぶことができる屋内の子供の遊び場設置について検討していく。

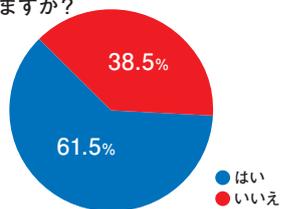
発達障害児支援

問 発達障害の疑いがあるグレーゾーンの子供が増加している。発育や発達に関する相談窓口が分かりづらいなどの意見がある。専門部署や気軽に相談できるオンライン相談窓口を設置してはどうか。

答 全ての妊産婦・子育て世帯・子供の相談に応じ、適切な支援へのつなぎや必要とする情報を提供するため、令和6年4月にこども家庭センターを設置した。子ども支援センターとも連携し、社会福祉、児童福祉、母子保健、教育部門が、専門性に応じた業務を実施している。今後、更に包括的支援

体制を強化していく。オンライン相談窓口の設置についても有効性、手段や体制などを検討していく。

市民サービスの手続にストレスを感じた子供が、福祉サービスに行くことに不安を感じたことありますか？
(26件の回答)



障害児、グレーゾーンのお子様をお持ちの
お母さんたちへのアンケート結果

問 年間18日、1日5時間勤務の中でスクールカウンセラーは十分に対応ができていないか。発達障害が疑われる相談は進学や就職まで見越したきめ細かな対応が求められるが、カウンセラー31人体制で学校の問題を全て網羅できているか。

答 スクールカウンセラーが1人で対応することが難しいケースは、スクールソーシャルワーカーを含め、全教職員で対応し、医療や関係機関につないでいる。相談件数は年々増加傾向にあり、年度途中でも学校のニーズに応じ勤務日数や

時間をフレキシブルに対応できるよう県と協議し、増員についても強く要望していく。

問 誰が市役所のホームページを開いても、発達障害児を持つ親御さんが、ここで相談できるという「つながる」仕組みを作れないか。

答 誰が検索しても子ども家庭センターにつながり、より分かりやすいホームページの改善に取り組む。

和歌山興志クラブ



ながの ひろひさ
永野 裕久

自殺対策

問 行政最大の責務は市民の生命を守ることであり、自殺対策はまさに住民の命を守る取組そのものである。

自殺対策は、行政のトップが責任者となり、全庁的な取組として地域自殺対策を総合的に推進することが重要と考える。

本市における自殺対策

について市長の見解はどうか。



答 令和5年度に見直しを行い「第2期和歌山市いのち支える自殺対策計画」を策定し、引き続き「生きる支援」に全庁で取り組んでいる。

今後も、総合的に自殺対策を推進するために、市民の皆様をはじめ、自殺対策に関連する機関や団体の、より一層のご理解とご協力をいただきながら、対策を更に進めていく。

人事行政

問 公務員として一定の実務経験がある方で、出産・育児や家庭看護、親の介護等による様々な理由で、やむを得ず公務員を退職された方を対象に行う公務員リターン採用試験がある。

合格者は、これまで培ってきた知識やスキルを生かして現場復帰することで即戦力として活躍が期待できるメリットがあり、導入している自治体も増えている。

本市でも、人生経験が豊富で行政経験も有する即戦力での人材雇用を目的に、公務員リターン採用試験の導入を試みてはどうか。

答 人材確保を取り巻く環境は厳しさを増しており、多様な採用手法を検討する必要があると考える。

様々な社会経験を有する方を対象とした採用試験を実施する中で、本市職員の経験者や国及び他の自治体での勤務経験者枠を対象に加えるよう検討していく。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

ケースワーカーの増員

家族介護料加算の対象

と思われる生活保護世帯に加算されていない事例がある。各種加算の手続はどのようなに行われているのか。

答 一般に本人の申告、届出により行われるべきものだが、調査の上、該当する場合は加算を行っている。

問 一人100世帯以上受け持つ体制ではケースワーカーが本来の役割を果たすことは困難と考える。市長はケースワーカーの重要性をどのように考えているか。

答 重要な役割を担っており、早急に体制を改善する必要があると思うがどうか。

答 重要な役割を担っており、適正な人員配置に努める。



みなみはた さちよ
南 幸代

園部低圧発電所29区画

問 市の太陽光条例の準用対象計画に対し、該当自治会は、不十分な協議の在り方や地震による被害の危険性が払拭できず、事業者も信頼できないとして全て不同意としていたが、昨年10月に県が許可、市が協議終

了とした。不同意書が出ていること、危険性や事業者の不誠実さが変わっていない上で協議終了したことについて市長はどう考えるか。

答 事業者との協議が平行線となったことは十分認識している。事前協議等の手続は終了しているが、今後、本事業に関連する法令や個別の条例に違反しないかなど厳格に審査していく。

声の市議会だより (市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。



委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案12件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、令和7年度の主要事業については、次のとおりです。

シテイプロモーションの強化 716万9千円について。これは、映画のような映像美を追求する本市のPR動画を作成、活用し、駅内やインターネットで広告、公開することで、県外・国外に向け、効果的に本市の認知向上・興味喚起を図るものです。



PRビデオ(イメージ)



新大坂駅デジタルサイネージ

ノーコードツールの活用による行政サービスの向上 210万7千円について。これは、プログラミングの知識がなくてもアプリ等を開発できるノーコードツールを導入し、業務時間の短縮を図るとともに、短縮された時間を活用し、行政サービスの向上に努めるものです。

安否確認の布を全世界帯に配布 788万6千円について。これは、災害時に安否確認の布を玄関などの確認しやすい場所へ掲げる取組を市内全域に広げるため、市で統一した布を配布し、災害時の迅速な安否確認や救助活動を推進するものです。

迅速な救助活動の実現

玄関などに布を掲示



世帯全員の無事を確認

玄関などの確認しやすい場所に、安否確認の布を掲げる

ドローン操縦士の育成 251万4千円について。これは、ドローンを活用し、発災初期における被害状況把握や沿岸地域での避難誘導、孤立集落の安否確認などを強化するため、職員におけるドローン操縦士の育成を図るものです。

なお、審査過程において、和歌山地域防災計画の主な見直しなどについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月6日



3月10日

厚生委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案19件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、令和7年度の主要事業については、次のとおりです。

第6ブロックへのコミュニティセンターの整備 3463万9千円について。これは、鳴神児童館、文化会館及び地区集会所を集約し、防災拠点としても活用可能な複合機能を有するコミュニティセンターとして整備するため、基本設計に着手するものです。

次期ごみ処理施設の整備 4539万2千円について。これは、施設の経年劣化が進行している青岸エネルギーセンターを新たに建て替え移転するため、基本設計及び生活環境影響調査等を行い、安定したごみ処理と脱炭素の取組強化を目指すものです。

省エネ家電への買い替え支援 1億309万5千円について。これは、市民生活における光熱水費の負担を軽減し、脱炭素への取組に対する関心を高めるとともに、地域での温室効果ガス排出量の削減を図るため、省エネ性能に優れたエアコン、冷蔵庫への買い替えを支援するものです。

低所得者支援給付金 18億2386万4千円について。これは、国の総合経済対策に基づき、特に物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円(児童1人当たり2万円を加算)を給付することで、物価高騰による負担の軽減を図るものです。

带状疱疹定期予防接種の開始 1億3864万7千円について。これは、65歳以上の5歳刻みの年齢の方及び一定の基準を満たす障害を有する60歳から64歳までの方で、未接種の方を対象に、带状疱疹の発症及び重症化を予防するため、带状疱疹定期予防接種を開始するものです。



なお、審査過程において、令和7年度国民健康保険料の見直し、和歌山市ごみ処理施設整備基本計画、地下水のPFAS概況調査及び周辺調査結果などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月7日



3月11日



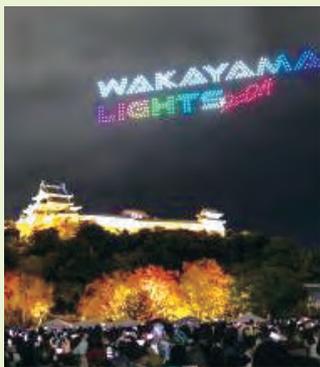
委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案14件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和7年度の主要事業については、次のとおりです。

天守閣上空でのドローンショー開催2125万円について。これは、夜間の和歌山城のにぎわい創出及び和歌山城公園内をライトアップする「和歌山城く光の回廊」の認知度向上を目的に、令和6年に実施したドローンショーによる効果の継続を目指し、夜のイベントと組み合わせたドローンショーを開催するものです。



ドローンショーイメージ図

和歌の聖地・ベイ オブ ポエムズ349万5千円について。これは、和歌を生かした地域活性化事業を支援し、郷土への愛着を高めるとともに、大阪・関西万博で増加する観光客に和歌の歴史・文化を体感してもらうため、シンポジ

ウム「和歌サミット」Bay of Poems」を開催し、また、和歌の聖地を持続的な文化観光資源にするために、万葉歌碑解説の英訳を設置し、国内外の観光客の来訪を促すものです。

プール授業体制の確保628万2千円について。これは、市立小学校・中学校・義務教育学校のプール施設について、大規模修繕を必要とする学校や、施設のない学校において、外部プールを活用し、水泳授業を実施することのできる環境を整えるものです。

大阪・関西万博への教育旅行参加支援6927万9千円について。これは、大阪・関西万博への市立小学校・中学校・義務教育学校の児童生徒の参加を支援することで、児童生徒が未来社会を主体的に考え、国際理解を深めるとともに、様々な文化芸術に触れ、親しむきっかけづくりを行うものです。

なお、審査過程において、食料安全確保確保に向けた和歌山市の農業政策骨子案について、和歌山市立幼稚園の今後などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月7日



3月11日

建設企業委員会

当委員会に付託された議案35件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和7年度の主要事業については、次のとおりです。

紀伊駅前広場の整備4000万円について。これは、多くの市民に利用されている紀伊駅について、利用者が安全・安心に利用できるように、バスやタクシーなどの乗降所を有した駅前広場に再整備するものです。



紀伊駅前広場(イメージ図)

ベーターの設置やスロープの改良等のバリアフリー化を行い、どなたでも利用しやすい空間にするものです。

洪水ハザードマップ作成1631万円について。これは、誰もが安全・安心に暮らしていけるように、現在策定している洪水ハザードマップを更新し、市民の方に周知するものです。

配水管の整備36億1456万6千円について。これは、老朽化した配水管の更新を進め耐震化を図るとともに、各水系間を結ぶ相互連絡管を整備することで安定供給の確保、防災対策の強化を図るものです。

衛星画像解析に基づく漏水検知業務6131万4千円について。これは、人工衛星で撮影した画像を基に漏水の疑い箇所の解析を行い、漏水箇所の特定に取り組みるものです。

なお、審査過程において、紀の川送水管複線化工事の進捗状況と今後の予定、宮地区都市再生整備計画などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月6日



3月10日

紀ノ川駅バリアフリー化推進事業7617万4千円について。これは、多くの市民に利用されている南海電鉄紀ノ川駅について、エレ

議案番号	件名	結果	創和クラブ										公明党議員団					民主クラブ			和歌山興志クラブ		日本共産党議員団		日本維新の会											
			辻本太一	林元光	志賀弘明	浜田真輔	中村元彦	中谷謙二	丹羽直己	芝本正人	戸田正典	古川祐一	山本宏一	北野均	遠藤富士雄	堀登美子	堀野十三	堀西良子	園内章世	藪内浩樹	藪内昭博	奥山哲郎	松本昭博	山路恭世	清末博善	山中敏史	山本忠相	赤松良寛	永野裕久	吉本昌純	尾崎方哉	坂口多美子	南畑幸代	森下佐知子	中庄孝次郎	山野麻衣子
議34	令和7年度和歌山市宅取得資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議35	令和7年度和歌山市駐車場管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議36	令和7年度和歌山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議37	令和7年度和歌山市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議38	令和7年度和歌山市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議39	令和7年度和歌山市直轄事業用地先行取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議40	令和7年度和歌山市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議41	令和7年度和歌山市工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議42	令和7年度和歌山市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議43	令和7年度和歌山市農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議44	令和7年度和歌山市漁業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議45	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議46	和歌山市職員給与条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議47	和歌山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議48	和歌山市職員給与条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議49	和歌山市職員の退職手当に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議50	和歌山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議51	和歌山市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議52	和歌山市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議53	和歌山市立保育所条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議54	和歌山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議55	和歌山市企業立地促進条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議56	和歌山市立市民スポーツ広場条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議57	和歌山市立学校等の児童、生徒等の災害共済給付に係る共済掛金徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議58	和歌山市道路に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議59	和歌山市開発行為等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議60	和歌山市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議61	和歌山市消防団設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議62	和歌山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議63	和歌山市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議64	包括外部監査契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議65	損害賠償の額を定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議66	和歌山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議67	令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第13号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議68	令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第14号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議69	副市長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議70	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	和歌山市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市議会公式マスコットキャラクター デザイン大募集!



あなたのアイデアで、子供たちに親しまれるキャラクターを作ってみませんか?

趣 旨: 議会の魅力を効果的に伝えるため、子供たちにとって親しみやすい公式キャラクターを募集します。

応募資格: どなたでも応募できます。
募集期間: 5月1日(木)から6月27日(金)まで
募集デザイン: 和歌山市議会らしさのある、誰もが親しみやすく、PRにふさわしいデザイン

賞 金: 最優秀賞1名 賞金3万円
 優秀賞2名 賞金1万円

応募方法: ①電子応募フォーム
 ②郵送又は持参

**応募要項など、
 詳細はこちらからご確認ください▶**



※応募用紙などは、HPからダウンロードいただくか、支所・連絡所、市役所1階に備え付けています。

たくさんのご応募をお待ちしております!



第2回!

親子DE議会!自由研究ツアー

夏休みの自由研究に!! 親子で楽しく市議会について学びませんか?

日時: 7月31日(木)午前10時~11時30分
場所: 和歌山市議会(市役所3階)
対象: 市内在住の小学4年生から6年生の児童と保護者
定員: 10家族
内容: ・市議会〇×クイズ
 ・議会フロアスタンプラリー
 ・模擬投票 など



※参加者には、缶バッジと修了証をお渡しします。
 ※参加1家族に図書カード(1,000円分)をプレゼント!

申込: 6月13日(金)までにWEBからお申し込みください。
申込はコチラから▶▶▶



※当選発表は7月1日(火)で、当選者のみ通知します。
 ※参加者には当日に限り、市役所周辺の市の施設(一部)について入場優待を実施します!

午前中は市議会、午後からは市役所周辺で楽しく学べる1日に!!

議員連盟

活動レポート

Vol.31

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟と和歌山環状北道路及び紀淡海峡大橋建設促進和歌山市議会議員連盟は、新六箇井堰の一部撤去の早期事業完了、紀の川の整備の推進及び和歌山環状北道路の早期事業化について、各々活動を行っています。今年度も両議員連盟が合同で、国土交通省等に要望活動を行いました。



要望活動の様子



次の定例会は、
6月です!



生中継・録画中継がご覧いただけます。

市議会では、市民の生活に直結する福祉、教育、道路、防災など様々なことについて、審議しています。本会議や委員会、どなたでも傍聴することができます。是非お気軽にお越しください。

市民に最も身近な市議会を目指しています!

和歌山市議会広報委員会

【委員長】 中谷 謙二 **【副委員長】** 堀 良子
【委員】 坂口 多美子 山路 恭世 清末 博善
 堀 登美子 辻本 太一 林元 光広
 山野 麻衣子 永野 裕久

市議会だよりを採点してください!

議会広報アンケート
 実施期間:
 令和7年7月31日
 (木)まで



現在
★3.6!!
 ★★★★★
 R7.2月時点



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、再生紙及び植物油インキを使用しています。

